

三井ホーム北海道およびレバンガ北海道(バスケットボールB.LEAGUE B1所属)への 北海道産材を利用した木製品寄贈について(寄贈式のお知らせ)

北海道森林組合連合会(以下、道森連)、農林中央金庫(以下、農林中金)では、三井ホーム北海道株式会社および男子プロバスケットボールリーグB.LEAGUE B1所属・レバンガ北海道に対し、北海道産木材(三井不動産グループ所有林の間伐材)を利用した「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」の寄贈を行うことといたしました。

つきましては、下記のとおり寄贈式を行いますのでお知らせいたします。

今回寄贈する「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」は、来る10月14日(土)・15日(日)に北海道総合体育センター北海きたえーるにて開催される、B.LEAGUE 2023-24 SEASON 第2節(vs名古屋ダイヤモンドフィズ)で、北海道森林組合連合会、農林中央金庫および三井ホーム北海道、レバンガ北海道で実施する「国産材(道産木材)利用拡大PRイベント」で活用されます。レバンガ北海道のホームゲームにご来場されるお客様に、「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」をプレゼントすることを通じて、道産木材を中心とした国産材利用拡大の取組みを幅広く周知することや国産材の販売促進に繋げることを目的としております。

三井ホーム株式会社を含む三井不動産グループと北海道森林組合連合会は、北海道および北海道木材産業協同組合連合会と、建築物における北海道産木材利用をより一層促進することを目的とした「建築物木材利用促進協定」を締結しており、本協定締結に尽力した農林中央金庫も含め、2050年脱炭素社会の実現、道内林業とその関連産業の活性化による地方創生の実現に向け活動しております。

3団体・企業の以上のような活動の趣旨に、レバンガ北海道が賛同し、選手肖像の提供やPR会場の提供の申し出があり、「国産材(道産木材)利用拡大PRイベント」開催の運びとなりました。

なお、今回寄贈する「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」の原材料は、三井不動産グループが北海道内に約5,000haほど所有する森林を管理する際に出た間伐材を再利用しております。

今回寄贈する木製品についても、より多くの皆様にご利用いただき、木の良さを知っていただくことで、国産材利用拡大の一助となることを願っています。

■北海道森林組合連合会 ホームページ

<https://www.doshinren.or.jp/>

■農林中央金庫 ホームページ

<https://www.nochubank.or.jp/>

■三井ホーム北海道 ホームページ

<https://www.mitsuihome-hokkaido.com/>

■くらしから考える新しいすまい選びサイト

「三井のすまいモール(北海道エリア)」

<https://www.mitsui-mall-area.com/hokkaido/>

■三井不動産グループ

「終わらない森創り」

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/and_forest/

■三井ホーム ニュースリリース

「北海道、北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会と建築物木材利用促進協定を締結」

<https://www.mitsuihome.co.jp/company/news/2022/1031.html>

■レバンガ北海道

<https://www.levanga.com/>

『三井ホーム北海道およびレバンガ北海道(バスケットボールB.League)への北海道産材を利用した木製品寄贈式』概要

開催日時	2023年10月3日(火) 11時30分～12時00分		
開催場所	赤れんがテラス (札幌市中央区北2条西4丁目1 札幌三井JPビルディング内)		
出席者	三井ホーム北海道株式会社	代表取締役社長	田中 暢優
	株式会社レバンガ北海道	代表取締役社長	折茂 武彦
	北海道森林組合連合会	代表理事会長	有末 道弘
	農林中央金庫 札幌支店	北海道営業部長	熊木 耕一
寄贈品	「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」1,400枚		
・寄贈者:	北海道森林組合連合会	代表理事会長	有末 道弘
	農林中央金庫 札幌支店	北海道営業部長	熊木 耕一
・受贈者:	三井ホーム北海道株式会社	代表取締役社長	田中 暢優
	株式会社レバンガ北海道	代表取締役社長	折茂 武彦

レバンガ北海道コラボレーション『国産材(道産木材)利用拡大PRイベント』概要

- 開催日時 2023年10月14日(土)・15日(日) (計2日間)
- 開催場所 北海道総合体育センター 北海きたえーる (札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1)
 ※ バスケットボールB.LEAGUE レバンガ北海道(ホームゲーム) vs名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
- イベント内容
- * 【北海道森林組合連合会×農林中央金庫】国産材(道産木材)利用拡大の取組み(PRブース)
 - * ちびっこ木育コーナー (道産木材を使ったおもちゃの体験コーナー)
 - * 「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」プレゼントコーナー
 - ・ 三井ホームによるアンケートの回答者先着700名(2日間合計1,400名)にプレゼント
 - ・ 内、先着70名には各選手の直筆サイン入り(2日間合計140名)



＜本件に関するお問合せ先＞

(取組全般について)

農林中央金庫 札幌支店 営業第二班 (松嶋、柏野) TEL : 050-3853-0852

(個社の取組について)

北海道森林組合連合会 総務指導部 指導課 (熊野、松原) TEL : 011-621-4293

三井ホーム北海道株式会社 営業部 営業推進グループ (塩崎) TEL : 011-729-2431

株式会社レバンガ北海道 セールスディビジョン (太田) TEL : 011-555-9090

本件の詳細はこちらから⇒ <https://www.mitsui-mall-area.com/hokkaido/>

「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」寄贈式・プレゼント企画概要

農林中央金庫

寄贈式

- 開催日時 10月3日（火） 11:30～12:00
 - 会場 赤れんがテラス（札幌市中央区北2条西4丁目1）
- その他詳細はプレスリリースをご覧ください。



三井ホーム × JForest × 農林中央金庫

木の質は、森の質。

北海道は、日本の森林面積のおよそ1/4にあたる551万ヘクタールの森林を有しています。この地で生まれる木材の品質の源となるのが、森の質です。百年単位の時間を重ねて育まれてきた天然林の森。親から子へ孫へと受け継がれてきた人工林の森。その森を育てる北海道の自然の厳しさ、豊かな生態系を守る人のやさしさ。北海道森林組合連合会、農林中央金庫、三井ホームは、森林の大切さや木の温もりを伝える取組みを通じて、道産木材の利用促進や適切な森林循環の重要性を伝え続けます。



このカードは、三井不動産グループが北海道内に所有する森林を森林組合系統が間伐した木材が使用されています。

プレゼント企画

- 開催日時 10月14日（土）開場12:00 開始15:05
10月15日（日）開場11:00 開始14:05
- 会場 北海きたえーる（札幌市豊平区）内特設ブース
- 企画内容
 - ①「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」プレゼント・・・合計1,400枚、各日700枚予定（アンケートに回答いただいた方を対象）
 - ② 森林循環の必要性・森林組合系統の役割を知ってもらうブース
 - ③ 道産木材を使ったおもちゃの体験コーナー

イベントの経緯 -「建築物木材利用促進協定」-

- 三井不動産グループと北海道森林組合連合会・北海道・北海道木材産業協同組合連合会は、2022年10月に「建築物木材利用促進協定」を締結いたしました。協定では、三井不動産グループは道内で伐出から加工までなされた地域材の活用に努めること、北海道森林組合連合会は原木供給体制の整備に努める等定めております。
- なお、「建築物木材利用促進協定」制度は、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の成立に伴い、建築物における木材利用を促進するために創設されたものです(林野庁HP「建築物木材利用促進協定」より引用)。



2022年10月31日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
三井ホーム株式会社

北海道、北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会と 建築物木材利用促進協定を締結 ～北海道における初の事例～

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 須田正信)、三井不動産レジデンシャル株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 嘉村敬)、三井ホーム株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 池田明)は、本日、北海道、北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会と、建築物木材利用促進協定(※1)を締結しましたのでお知らせいたします。

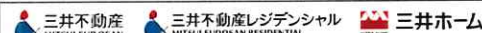
当社グループは、「&」マークに象徴される「共生・共存」「多様な価値観の調和」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、グループビジョンに「&EARTH」を掲げ、社会・経済の発展と地球環境の保全に貢献しています。当社グループは北海道に約5,000haの森林を保有し、毎年約17,000トンのCO2を吸収、生物多様性の保全に貢献するとともに、持続可能な「終わらない森」創りを推進しています(※2)。一方、不動産事業においては木材の利用を積極化しており、戸建住宅だけでなく、オフィスビル、マンション(※3)など木造建築物の開発に取り組んでいます。今般、当社グループにおける北海道産木材の利用促進について、北海道、北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会と合意いたしました。北海道の、企業等との本協定締結は初の事例となります。

本協定の主な内容としては、北海道が北海道産木材の利用促進について技術的助言や補助事業等の情報提供、本協定に基づく取組の広報を行うこと、北海道森林組合連合会があらかじめ建築材の供給体制を整え、合法伐採木材の供給を適時に行うこと、北海道木材産業協同組合連合会が地域材の利用促進および施設整備への財政的支援の要請に取り組むこと、当社グループが今後建設予定の建築物において、北海道産木材の利用に努めること、などとなっています。

当社グループは北海道と協力し、本協定の趣旨である、2050年脱炭素社会の実現、林業とその関連産業の活性化による地方創生の実現に貢献してまいります。

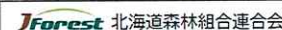
三井不動産グループによる本協定にかかるプレスリリース

三井不動産グループ(三井不動産、三井レジデンシャル、三井ホーム)
北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会と北海道
との建築物木材利用促進協定の概要

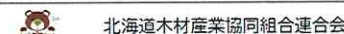


- 今後建設予定の建築物において、地域材*を利用することに努めます。その際は合法性が確認された木材を利用します。
- 地域材の調達には、道内の木材生産体別へ配慮し、安定的な取引に配慮します。
- 必要な木材を確実に調達できるよう、必要な材種、樹種、寸法などの情報を共有し、十分な時間的余裕をもって調整を計るよう配慮します。
- 森林資源の循環利用のため、伐採跡地での植林を行います。

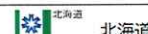
*地域材:北海道内の森林から産出され、道内で加工された木材



- 建築物の整備にあたり、原木の供給体制を整え、求められる品質や量の合法伐採木材の供給を適時に行うよう配慮します。
- 森林資源の循環利用のため、伐採跡地での植林を行います。



- 道内の製材工場ができる限り建築材生産に取り組みめるよう、地域材の利用促進及び施設整備への財政的支援の要請等に取り組めます。



- 三井不動産グループ及び北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会に対し、技術的助言や活用可能な補助事業等の情報提供を行うとともに、定期的な意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介などを行います。
- 協定に基づく取組について優良事例として積極的に広報します。

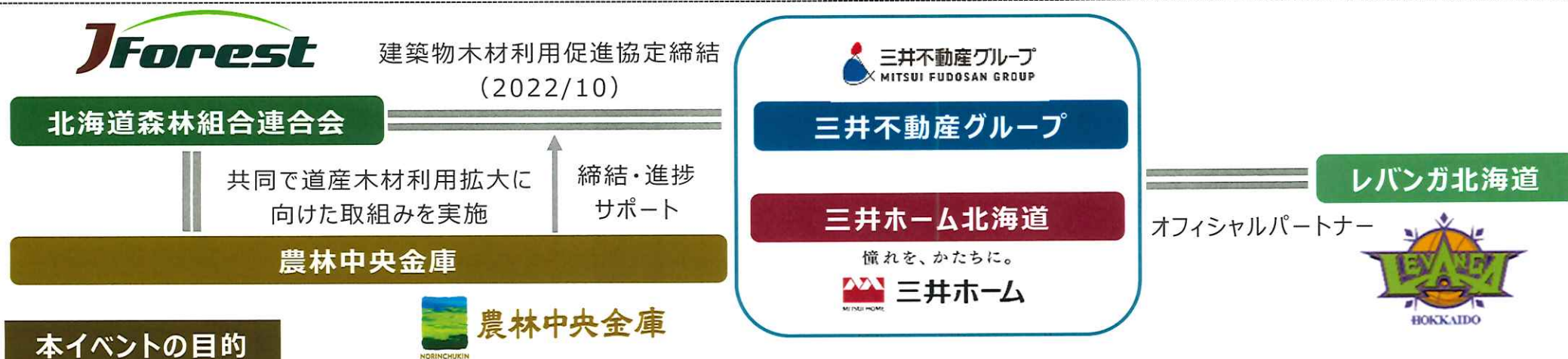
2050年カーボンニュートラルの実現や山村の活性化等への貢献

北海道庁による
本協定にかかる
プレスリリースより引用

イベントの目的

農林中央金庫

- 三井不動産グループと北海道森林組合連合会、協定の締結と進捗に携わる農林中央金庫は、協定に記した道産木材の活用促進に向け、消費者に向けた道産木材の魅力を直接発信する本イベントを企画しました。
- 企画立案の過程で、三井不動産グループが「オフィシャルパートナー」を務めるレバンガ北海道にも趣旨賛同いただき、今回の4社による連携イベント開催が実現しました。



本イベントの目的

- 「レバンガ北海道所属選手木製トレーディングカード」プレゼント
道産材を活用したカードを1,400人の来場者の皆様にお手元にお届けします。道産木材の温もりや親しみを感じていただくことで、道産木材を活用した商品を積極的に選んでいただけるようなきっかけを提供したいと考えています。
- 森林循環の必要性・森林組合系統の役割を知ってもらうブース
森林の機能を持続的に発揮するためには「植えて育てて、伐って使って、また植える」という森林資源の循環利用が必要です。また、森林を守り育てるために日々活動する森林組合の役割を広く知っていただく狙いです。
- 道産木材を使ったおもちゃの体験コーナー
将来の消費者となる子どもに向けて、木のおもちゃを通じて道産木材に触れる機会を創出し、親しみを感じていただきます。